



GAKUEN LETTER



SOKA GAKUEN 学園からのお知らせ INFORMATION

イベントや入試など様々な情報をお知らせします。

東京キャンパス

- 中学入試説明会 ※要予約
10/11(日) ①10:30~ ②14:00~
- 高校入試説明会 ※要予約
10/11(日) 10:00

● WEBオープンキャンパス

ホームページにて公開中!



関西キャンパス

- オープンキャンパス ※要予約
10/18(日)・11/3(火祝) ① 9:30~11:30 ② 13:30~15:30

- オンライン相談会 ※要予約
10/18(日)・11/3(火祝)・12/6(日)
ビデオ通話を用いて、学校生活や寮生活、奨学金や学費について、学園教職員が質問に答えます。

- WEB入試説明会 ※登録制
入試に関する説明、学習のポイント、入試問題の解説などをホームページにて視聴いただけます。

- WEBオープンキャンパス ※一部登録制
ホームページにて公開中!



学園メイトのみなさんへ アンケートご協力をお願い



より一層充実した誌面をお届けするため、学園レターの企画・内容に関する簡単なアンケートにご協力ください。コードを読み取っていただくと、アンケートページが開きます。よろしくお願ひ致します。



Message for YOU!

成長の秋にしよう!

学園メイトのみなさん、こんにちは!

2学期がスタートし、季節は秋になりますね!

みなさんいかがお過ごしですか?

いつも頑張っているみなさんを僕は全力で応援しています!

僕と一緒に色々なことにチャレンジして、

成長の秋にしていきましょう!

手洗い・うがいを忘れずに、

みんな元気でね☆



メイト君

偉人を学ぶ 31

フランチェスコ・ペトラルカ

創立者 池田先生のスピーチなどで紹介された偉人について一緒に学ぶコーナーです。今回は「フランチェスコ・ペトラルカ」を学んでみよう!

創立者の指針

私の師匠・戸田城聖先生も私も好きな、この大詩人の言葉があります。

「運命はわたしを苦しめ、叩くことはできても、打ちのめすことはできません」というのであります。

そして、ペトラルカは「勇敢さ」と「辛抱強さ」を力とし、さらに絶対の信頼で結ばれた「友情」を宝として「友と朗らかに」、苦難の運命さえも不屈の創造のバネとしたのです。

(2020年度「栄光の日」記念の集いメッセージより)

フランチェスコ・ペトラルカ 1304年-1374年

14世紀初めの詩人・学者・人文主義者で、ダンテやボッカッチョとともに、イタリア文学の三巨星の一人と称されている。少年時代にボローニャ大学で学び、古典文学に心を惹かれ文学の道に進む。叙事詩『アフリカ』などを書き残し、最も優れた詩人に与えられる「桂冠詩人」の称号を受けた。



苦難の運命さえも 不屈の創造のバネへ!!

ペスト(黒死病)という恐ろしい感染症が蔓延する危機の時代を生き抜き、ルネサンスという文化の黄金時代を切り開いたペトラルカ。創立者 池田先生は、勇敢に辛抱強く闘ったペトラルカの生涯を通して、「思えば、戸田先生と私が学園・大学という創価教育の学びやの建設を構想したのも、70年前、先生の事業が最も苦しい時でした。学園は、まさに「師子の信念」から生まれたのです」と苦難に立ち向かう師子の信念を教えてください。日々の勉強や学校生活など、思うようにいかず悩む時もあります。そんな時こそ、師子の信念を奮い起こして、負けない心でチャレンジしていきましょう!

目指したきっかけは? どんな勉強をしたの? 受験で得たものは?

学園生の受験体験記



今春、創価学園に合格を果たした学園生の代表に、学園を目指したきっかけや、取り組んでいた勉強法、受験を通して得たことなど、学園メイトのみなさんへのエールを込めて、受験体験を綴ってもらいました。



Gakuen Spirits

創立者の指針

関西キャンパス 平和の鐘

2020年度「栄光の日」記念の集いメッセージより

大地のように、たくましく鍛錬を

さまざまな制約があり、思うようにいかないことや悔しいこともあるでしょう。しかし、わが学園生は、だからこそ、大地のように、

たくましく鍛錬を! 大海のように、大きな心で勉学を! 読書を!

太陽のように、明るい笑顔で友情を! 親孝行を!

中学1年・男子

絶対にあきらめない

僕は小学6年の春に行ったオープンキャンパスで、授業の楽しさ、先生や先輩の優しさに触れ、「池田先生が創立された学園で学びたい」と思い、受験を決めました。6年生の6月から塾に通い始めました。塾の先生からは「スタートが遅いので毎日夜まで勉強しよう」と言われましたが、勉強するのは塾に行った時だけ。7月の模擬試験では半分も解けませんでした。それからは、毎日早起きをして算数、夜は国語と歴史の暗記に取り組みました。9月になると、学校行事との両立が大変で「学校に行きたくない、受験もやめたい」と弱気になることもありました。池田先生の励ましの言葉を思い出しながら頑張りました。過去問題集には、12月から挑戦。解き方が定着するよう、何回も解き続けました。全てやり切った当日、緊張でミスしましたが、力を出し切ることができました。合格と分かった時は、心の底から嬉しさと達成感が込み上げてきました。受験を通して「学ぶことの楽しさ」と、どんなことがあっても絶対にあきらめない「負けじ魂」を実感できました!

中学1年・女子

家族や周りの方に支えられた

私が学園の受験を決めたきっかけは、両親に勧められたことや小学6年の春のオープンキャンパスで、学園生の姿に触れたことです。しかし、周りの友達は、4・5年生頃から受験勉強を始めており、「私は取り残されている」と思っていました。それから塾は週2日から週4日に変わり、急に増えた勉強時間と減った自由時間に、はじめはイライラして勉強に集中できずにいましたが、塾の先生や両親に励まされるうちに、勉強する姿勢ができてきました。夏期講習では今までの倍以上の勉強時間に驚きましたが、だんだん勉強への抵抗感もなくなり、自分を高めることができました。その後もさらに勉強時間が多くなりましたが、全てやり抜き、試験では実力を出し切って、合格を勝ち取ることができました。学園を受験することで多くの時間を使いましたが、得るものも多かったです。家族や周りの方に支えられたことに感謝し、これからは創立者の思いに近づいていけるよう、成長していきます。

高校1年・女子

自分が大きく変わるチャンス

私が小学6年の時、オープンキャンパスで学園生の笑顔と沢山の激励の言葉に、先輩たちのように輝く自分になりたいと、創価中学校を受験するも不合格。しかし悲しみに沈む間もなく、私に足りなかったものを見つけ、高校で絶対に学園に合格しようと決意しました。中学生になり、1年生から2年生2学期まで風紀委員を担当。2年生3学期からは、生徒会を任せられました。引込み思案だった私が大勢の人と自信を持って関われるよう成長し、中学受験の不合格の意味を見つけることができました。この受験期間は、自分が大きく変わるチャンスなのだと気づき、「自分から動く」という意識が大切であると学びました。勉強への姿勢も大きく変わり、先生にも積極的に質問するよう。毎日10時間の勉強に挑戦し抜き、合格できました。

高校1年・男子

“恩返ししよう”との思いが力に

私は中学2年の春にオープンキャンパスに行き、最高の学習環境と、何より自分の学校に誇りを持ち、輝く先輩方を自分の目で見て「ここで学びたい!」と思い、受験を決めました。受験勉強ではまず基礎を固めることから始めました。授業中にわからないところがあれば、わかるまで先生に教えていただきました。そして応用では過去問を解くことに力を入れ、自分の足りない分野と問題の傾向をつかみ、効率よく勉強していききました。試験に受かるかどうかとの不安や孤独感、学校生活や友人関係の悩みも絶えず、体調を崩し、思うように勉強が進まないことがありました。そんな時、担任の先生から激励され、支えてくれる人たちの存在に気付くと、それからは“恩返ししよう”との思いが力になり、最後までやり切ることができました。

学園メイトのみなさんにメッセージ

時には思うようにいかないことがあるかもしれませんが、しかし自分の周りには必ず支えてくれる人がいます。その人たちの思いを心に刻み、挑み続けてください。学園でお会いできる日を楽しみにしています。(高校1年・女子)

受験生のみなさんも不安でくじけそうになることがあると思います。でも決して一人ではありません。支えてくれる人が沢山います。努力したことは一生の財産になると思うので、絶対にあきらめずに頑張ってください!(高校1年・男子)